

2020年には  
19万人不足

情報セキュリティの脅威は増大の一途をたどっており、毎年の人材を確保しようとしても、十分な予算を確保できないなどの理由により、必要な人材を確保できないケースがある。また、そもそもセキュリティ人材の絶対数が足りていないという問題もある。

脅威に対応するために情報セキュリティの知識や技術を有するセキュリティ人材が求められる。しかし、企業がセキュリティ人材を確保しようとしても、十分な予算を確保できないなどの理由により、必要な人材を確保できないケースがある。また、そもそもセキュリティ人材の絶対数が足りていないという問題もある。

場の高い伸び率から20年には約19・3万人が不足すると推計されている。また、「自社向け」の業務を担当する人材だけでなく、「社外向け」の業務を担当するセキュリティベ



策が十分に行えず、被害を拡大してしまう恐れがある。そうならないためにも企業はセキュリティ人材を育成していく必要があるが、育成には時間がかか

算や確保していくためには、セキュリティに関する中長期的な戦略を決定していく必要がある。中小企業ではセキュリティ担当の専任者を置くことが難しい場合も多い。その場合、担当者不在とならないよう誰が兼務するか、兼務した担当者

# 求められる専門人材

経済産業省の調査によると、情報セキュリティ人材は2016年時点で既に約13・2万人が不足しており、

情報セキュリティ市場の成長に伴い、さらなる不足が懸念されている。

育成・確保を中長期的に

人材戦略の決定

採用

セキュリティ人材

セキュリティ人材

セキュリティ人材

情報セキュリティ市場の成長に伴い、さらなる不足が懸念されている。

育成・確保を中長期的に

人材戦略の決定

採用

セキュリティ人材

セキュリティ人材

セキュリティ人材

## セキュリティ対策